

# 磐城時報

九夕 日刊  
編集者 藤田 誠  
印刷所 磐城印刷局  
発行所 磐城印刷局  
電話 四二五  
代金 一月金五元  
一月金五元  
半年金二十五元  
一年金五十元  
郵政特種郵便第三三三號

## 全國上水道會議に 條例改正を迫る

### 平町長伏見氏が提案し 委員に任命さる

平町長伏見氏は過般鹿兒島物品評會は二十三日、二十四日市に開かれた全國上水道會議に警備村小學校に於て舉行の筈で出席した事既報の通りであるが當日は同校兒童の成績品展覽會同會場に於て協議されたものは百三十七件のうち  
▲水道條例の法規上改正意見  
外五件は委員附託となつた、委員は東京、京都、大阪、横濱、名古屋、神戸、豊橋、佐賀、杉江、前橋、門司等各市の市長であつた、特に平町長は前記の提案をなしたため之等大都市の市長の仲間に入り委員に任命された、伏見町長は語る  
「水道條例の法規上の改正意見を私は全國上水道會議に提案した理由は、上水道は内務大臣から認可をうける事になつてゐるが、同河川の水面使用權は別に地方長官から許可を得ねばならぬといふ事は、法の曲解であるが、さうでなければ法の不備な結果であらうと思ふ、之の点を徹底せしめるために提案したもので、私も委員の重荷を負はされた以上極力該問題について目的達成に努める覺悟である。」

## 官行炭品評會 出品六百点

東京警備村管内官行木炭聯合出品評會は廿三日平町元石郡郡署に於て開かれた。出品は六百点、審査員は大山、神尾の兩技師、褒賞授與式は二十四日である。

## 青沼鋒太郎氏 磐城炭礦を退職

### 後任は水野虎三郎氏

磐城炭礦經理課長青沼鋒太郎氏山形に於て舉行石城郡から参加した者三名中左、如、入賞した四等、平町鎌田町高島鶴吉、夏井村下大越木田源次郎、營林署を平署で、  
▲林野火災豫防  
平署警署と協力して、山火火災期に入つたので、徹底的に愛林思想、鼓吹し野火を取締、ため左の如き標語を書いたシヤリ一萬枚を印刷し郡内

## 農産物品評會

島縣農業競技大會は去る四日郡

## 農業競技入賞者

福

## 三村聯合

福

## 井上巡查慶事

平警

小學校兒童に配布した。  
▲伐つたら植えよ恩返し  
▲富みし村は木立多し  
▲木が太るお金がまわる樂にな  
▲伐つたら父ちゃんその跡に直ちに苗木を植ませう  
わたくしが大きくなる日には樹木が大きくなるでせう  
▲危ない父ちゃん吸殻があれ木の葉につきました野火や吸殻氣をつけて愛しませうよ森林を

## 四倉獵友總會

四倉

## 茨城、石城を荒した 大賊四倉で捕はる

大賊四倉で捕はる

去る七日夜四倉警察署瀨谷刑事が四倉町新町地内を警邏中舉動燭の典をあげると、この男は當時住所不定無職宮城縣石巻町生れ窃盜前科三犯小西忠次郎（二七）と言ひ刑務所を出獄後茨城縣下を徘徊して數回に亘り窃盜を働いて去る十月初旬石城郡に入り込み平町田中四家衆治方に忍び入り外套外敷点を窃取した外數ヶ所で窃盜をなし總額七百圓分の盗み贓品は各地の質屋に入れ、遊里の巷で費消し、事を白したので九日平檢事局に送つた。

## 秋窓漫談

### 農民投機のこと

福島新聞支局 生

持欠的財界不況に最も打撃を受けたものは農村である、その疲弊は日を追つて深刻となつてゆ、殊に今年の如きは春蠶の上首尾に多少の金融を生じたので舊債の整理やなんかに一息ついて秋蠶と米價の高騰見越して少しは樂な生活を送らうと思つてゐた見當がはつて秋蠶の低落と米價安に豫想は見事に裏切られたものがある、秋窓に招かれたものが幾もあるかわからない、最近の登記所、現はれた農村に於ける土地賣買の頻繁さがこれを雄辯に物語るものであら

## 情夫に弄ばれて 遂に酌婦になる

神谷村龜藏長女眞柄すみ（一九）に窮したため酌婦となつたものは六日福島市五月町飲食店渡邊で、情夫も同日福島署に捕はれる方に前借二百圓で酌婦に仕前借詐欺犯として取調中であるを交へ七日正午頃行衛不明となつたので抱主は詐欺と知り福島署に訴へ出でたので福島署員が郡山市に追跡し取押へた、同人獵友會總會は十三日大野村に開き會員七十余名が同村内の實物山狩りを行ふ筈である。

## 田村勝美の 控訴公判

田村勝美の

## 平驛の 乗降人員

平驛の乗降人員

平驛に於て、去る十月中の乗降人員は九萬四千八百八十八人、降人員は九萬九千八百八十八人、比すれば何れも約一萬人以上の増加である、之は川前村の紅葉狩運動を行つてゐるうち五月十五日午後八時頃同町宇臺の山に於て平警察署の岡部、近藤兩警官の率ひる警備隊と團員八十余名が衝突し警官、負傷せ、めつ湯本町裏町の本部、引きあげ加收入合計一萬八千九百九十九圓、昨兩警官に負傷せしめ、事件はてゐる。

上米も掛弊のみで米價は底知らずに暴ち、ゆき、手持米の豊富な農民は、却つて米價の暴落を恐る、米價の暴落は、穀物検査所の調査によつて新米の出産期を目前に控へた今日古米はまだ山程ある、然もそれが毎年の例を破つて新米以下の取引値段だといはれてゐる、目先の利、農民が新米を先買し、急場を凌ぎ古米を自家用として残存せしめやうとすることは一面に於て農民の經濟思想が發達した證據になると共に他面をそれ程彼等の生活が苦しくなつて来たことを證據づけるものである、農村の疲弊打開解決は言ふべくして仲々行はれないことであるが、この投機だけでも防げらるならば農民は大部その生活を緩和されることであらう。

▲家出少年捕はる 相馬郡中村町字新町一九七松吉二男砂茂(十七)は九日午前七時半無断家出し日立木驛から上り列車に乗って平町に來た處を午前十時四十三分平驛で捕はれ保護中である。

長途騎乗

櫛田氏の通信

江州柏原にて 櫛田彦之進 (第十信)

◎財界不況ニ伴ヒ値下斷行◎

十一月二日ヨリ

カツレツ 二十銭 カレイライス 二十銭
メンチカツ 二十銭 ハヤシライス 二十銭
ハヤシビフ 二十銭 ポークライス 二十銭
御酒一本 二十銭

西洋御料理 カフェエータヒラ

▲六日(晴)午前七時二十分岐阜市出發本莊村、合渡村、本田村、般木村を経て大垣市に入。此間長良川、揖斐川二大橋あり静里村を過ぎ午後一時垂水村にて晝食す。道路の屈折甚だしく且一狭少し困難す。二時出發關ヶ原町古戰場を過ぎ今須村を経て午後四時滋賀縣坂田郡に入り五時柏原に一泊す。關ヶ原は要塞の地、東軍固守、西軍攻勢に出する一見知るに足ら、本日武佐町に向ふ。

編輯日記

▲歸京した山田民報君、失敗した顔を紅して語らう。雨が降つてゐたので深靴を穿いて行つたのださうだ。翌日秋雨カラリと霽れたが、依然深靴の山田君、銀プラ連が悉く深靴を振りかへつて歸るのを見かした。て堪らず窮すれば通ず山田君の頭、浮んだ名案、ズボンをよくつて靴の表に出たさうだ。それでも下が太過ぎて尙ほ更變な姿になつたのは困つたことばす。

讀者と記者欄

(問)二十二歳の女十六歳の時半月の間某家に嫁ぎました。その麻痺を受けそのまゝ離縁

簡便 誠實 金の堅固 融一の味 趣の味 貯蓄 共栄
大邑 大許 巨許 巨許
會商 盡無 城磐 巨許
町仲町平社支町田植社本
【番九六七・番一話電】

寒サノ御用意ニ
毛シャツ 二五〇位ヨリ
都巻純毛 二四〇位ヨリ
ネルワイシャツ 二二〇位ヨリ
ツルヤ商店
電話百四十番

外科 入院隨意
赤心堂病院
電話四七五

外科一般、婦人科
耳鼻咽喉科
赤心堂病院
電話四七五

牛肉大投げ賣り
並肉 百々 金三十銭
上肉 同 金五十銭
口スレ 同 金七十銭
ヒロ 同 金九十銭
深谷牛肉店
電話五二四番

肉類の好季節!!!
鳥 好季節!!!
牛 好季節!!!
牛鳥肉 田町
御料理 電話四三

スーパード錠
肺結核、肺炎加答兒、肋膜炎の優秀薬が始めて出来ました
新案 スーパード錠 十一月分 七圓
幾多の實驗者が立證せる効果は、一、熱は日に増し下る、二、咳嗽及痰がなくなり、三、食慾がすすむ、四、盗汗がなくなり、五、呼吸困難が楽になる、六、安眠が出来る、七、肋膜炎の水が取れる。
縣下代理店 平町五丁目 山野邊藥局

カキ貝御料理
強烈なる滋養 美味 以て例年御期待の
相始め申候
カキフライ 一人前 三十銭
カキ なべ 同 五十銭
カキよせなべ 同 五十銭
スガキ 同 廿五銭
洋式宴会 仕出し 一の井
電話一六七番

建國史名優競演
雪の野尻湖
高松 親不知 子不知 糸魚川風景及雪害の跡を撮影。
日活會社が江戸趣味を中心とする大衆名映画
澤村春子、櫻木梅子、尾上卯多五郎、葛木香一、尾上華大、嵐丘松郎大主演

大谷時計病院
平町三丁目 電話一九番
栗守酒特約店 大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目 電話六二四